

令和6年度小児・AYA世代がん診療に関する医療機関実態調査 対象医療機関一覧

別添

【病院】

医療圏	通し番号	指定	病院名	①	②	③	④	⑤	⑥
千葉	1		千葉県こども病院	○	○	○	○	○	
千葉	2	拠点等	千葉大学医学部附属病院	○	○		○	○	
千葉	3	拠点等	千葉県がんセンター			○		○	
千葉	4	協力	千葉市立青葉病院	○					
千葉	5	協力	千葉市立海浜病院	○					
東葛南部	6	拠点等	順天堂大学医学部附属浦安病院	○				○	
東葛南部	7	拠点等	東京歯科大学市川総合病院	○				○	
東葛南部	8	協力	東京女子医科大学附属八千代医療センター	○					
東葛南部	9		東京ベイ・浦安市川医療センター	○					
東葛南部	10	拠点等	船橋市立医療センター	○					
東葛南部	11		社会医療福祉法人社団 千葉県勤労医療協会 船橋二和病院	○					
東葛北部	12	拠点等	独立行政法人国立がん研究センター東病院						○
東葛北部	13	拠点等	松戸市立総合医療センター	○		○			
東葛北部	14	協力	千葉西総合病院	○					
東葛北部	15		医療法人財団 東京勤労者医療会 東葛病院	○					
東葛北部	16	拠点等	東京慈恵会医科大学附属柏病院	○					
印旛	17	拠点等	成田赤十字病院	○	○		○	○	
印旛	18	拠点等	日本医科大学千葉北総病院	○			○	○	
印旛	19		独立行政法人国立病院機構 下志津病院	○					
印旛	20	協力	東邦大学医療センター佐倉病院	○					
印旛	21	協力	聖隷佐倉市民病院			○			
印旛	22	協力	国際医療福祉大学成田病院					○	
香取海匠	23	拠点等	総合病院 国保旭中央病院	○					
安房	24	拠点等	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	○				○	
安房	25		社会福祉法人 太陽会安房地域医療センター					○	
君津	26	拠点等	国保直営総合病院 君津中央病院	○				○	
市原	27		帝京大学ちば総合医療センター	○					
市原	28	拠点等	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	○					
				23	3	4	4	11	1

【診療所等】

医療圏	通し番号	指定	病院名	①	②	③	④	⑤	⑥
千葉	29		千葉こどもとおとなの整形外科			○			
千葉	30		平沢小児科					○	
千葉	31		ひらた内科・小児科クリニック					○	
千葉	32		千葉リハビリテーションセンター			○			
千葉	33		医療法人財団はるたか会あおぞら診療所幕張					○	
千葉	34		いなげ未来クリニック					○	
東葛南部	35		医療法人社団麒麟会 若葉クリニック					○	
東葛南部	36		しま小児科					○	
東葛南部	37		岩沢医院					○	
東葛北部	38		おおたかの森こどもクリニック					○	
東葛北部	39		医療法人財団はるたか会あおぞら診療所新松戸					○	
印旛	40		医療法人社団CACユーカリが丘アレルギーこどもクリニック					○	
山武長生夷隅	41		医療法人社団酒井医院					○	
安房	42		医療法人鉄蕉会 亀田クリニック					○	
				0	0	2	0	12	0

- ①日本小児科学会専門医研修施設
- ②日本小児血液・がん学会研修施設
- ③千葉小児科整形外科グループ施設
- ④TCCSG (Tokyo Children's Cancer Study Group) 参加施設
- ⑤医療情報ネット「ナビィ」/千葉県/キーワード検索/小児悪性腫瘍(小児がん) 該当医療機関
- ⑥R4年度調査の対象で、小児腫瘍科を標榜施設

令和6年度小児・AYA世代がん診療に関する医療機関実態調査結果

1 調査概要

小児がん患者さんとそのご家族及び小児がん経験者の方が可能な限り慣れ親しんだ地域で治療や支援、長期フォローアップが受けられる環境の整備を検討していくための基礎資料として、県内の医療体制の実態を把握するための定期的な情報の確認と更新として、平成27年度、平成29年度、令和元年度、令和4年度の計4回にわたり調査を実施した。

本調査は第5回目の調査となり、病院28施設、診療所14施設に調査を実施した。

なお、調査結果については、資料1が病院、資料2が診療所の結果である。

(1) 調査目的

県内の小児がん・AYA世代診療における医療体制の実態把握

(2) 調査対象

病院28施設

別添対象医療機関一覧のとおり

※下記のいずれかに該当する県内医療機関

- 日本小児科学会専門医研修施設
- 日本小児血液・がん学会研修施設
- 千葉小児整形外科グループ施設
- TCCSG 参加施設
- 医療情報ネット「ナビィ」/千葉県/キーワード検索/小児悪性腫瘍(小児がん) 該当医療機関
- 令和4年度調査の対象で、小児腫瘍科を標榜している施設

(3) 調査期間

令和7年2月

(4) 調査方法

郵送またはメールにより回収

【 病 院 】

2 調査結果

【回答状況】 21施設 回答率75%（※各設問に対する公開数は下記のとおり）

	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12
施設名を含め公開	12	6	6	19	6	6	6	6	6	19
施設名を除き公開	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

【問3 小児がん診療体制について】

- 28施設のうち、調査対象とした疾患について、1つでも診断、治療を行っているとは回答した医療機関は12施設であった（別紙1）。残る医療機関については、「小児がん診療は行っていない」、「疑い患者は診察後、他院へ紹介している」との回答であった。
- 調査対象とした疾患以外で「その他」として挙げられた病名は、胸膜肺芽腫、混合性胚細胞腫瘍、ユーイング肉腫、卵巣悪性奇形腫、胃がん、大腸がん、滑膜肉腫などの非円形細胞軟部肉腫、菌状息肉腫等であった。
- 主たる診療科としては、小児科、小児外科、血液腫瘍科等であった。

【問4・5 療養環境及び患者・家族支援について】

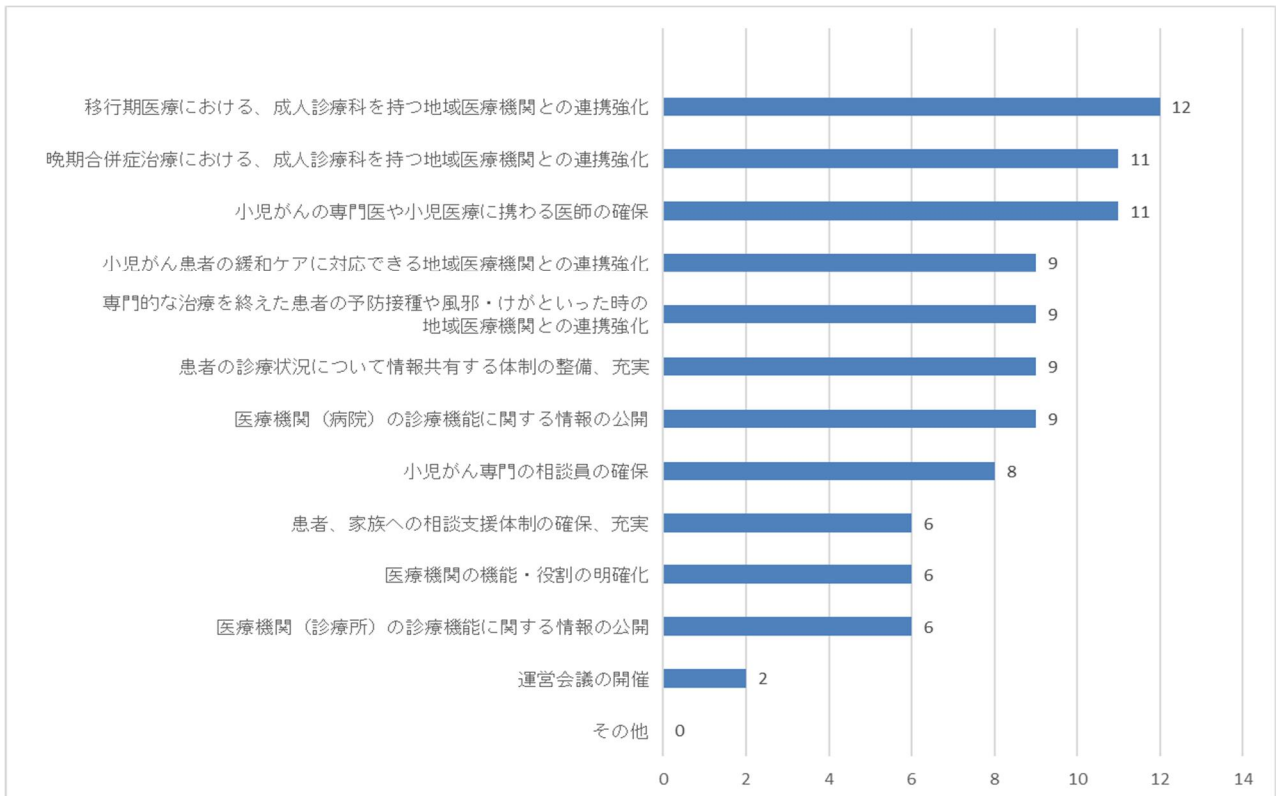
- 診断及び治療を行っているとは回答した医療機関6施設の療養環境及び患者・家族支援状況の回答を一覧としてまとめた（別紙2）。
- 家族等の宿泊施設が活用できる医療機関は2施設であった。

【問6 地域との医療連携について】

- 専門的な治療を終えた患者の予防接種や風邪・けがといった時の診療について、自施設で何らかの診療が可能と回答した20施設のうち、予防接種の対応施設は17施設、風邪等の内科的症状の診療施設は16施設、けが等外科的治療の対応施設は11施設であった。その他歯科治療等は7施設、小児期から成人期への移行期医療は5施設、成人期における晩期合併症治療は3施設が診療可能と回答している（別紙3）。

【 病 院 】

【問6 地域医療機関と連携した小児がん診療を行うために必要と思われるもの】（複数回答可）



○最も多かったのは「移行期医療における成人診療科を持つ地域医療機関との連携強化」12件、
ついで「晩期合併症治療における、成人診療科を持つ地域医療機関との連携強化」「小児がんの
専門医や小児医療に携わる医師の確保」がそれぞれ11件であった。

【問7 地域との医療提携（緩和ケア含む在宅医療）について】

※回答は小児がん診療（診断、治療）を行っている医療機関（6施設）のみ

○専門的な治療中の、緩和ケア提供含む在宅医療に対応している地域医療機関との連携について、
上記6施設のうち「自院が所在する市町村」5施設、「隣接する市町村」4施設、「左記以外の
県内市町村」5施設で、「連携実績がある、もしくは連携できる可能性がある」と把握している医
療機関がある」との回答であった。

【問8 医療者による入院後等の復学支援について】

※回答は小児がん診療（診断、治療）を行っている医療機関（6施設）のみ

○上記6施設のうち5施設で、小児がん患者の入院治療を実施している。

また、「復学に対して医療者が相談を受ける体制」がある医療機関は4施設、「治療中の高校生
を対象に学習支援を実施している」医療機関は4施設だった。

【 病 院 】

【問9 治療終了後のフォローアップ状況について】

※回答は小児がん診療（診断、治療）を行っている医療機関（6施設）のみ

○上記6施設のうち5施設で、小児がん患者の長期フォローアップ診療を行っている。

また、「晩期合併症の早期発見と適切な対処に対する説明」を「すべての患者」もしくは「一部の条件に合致する患者」に実施している医療機関は5施設だった。

【問10 小児がん患者の成人診療科への移行支援の状況について】

○小児がん診療を行っている医療機関（6施設）のうち、4施設において小児がん患者の成人診療科への移行支援を行っている。

移行支援の状況について、各施設の回答一覧は（別紙4）のとおり。

【問11 妊孕性温存療法について】

※回答は小児がん診療（診断、治療）を行っている医療機関（6施設）のみ

○上記6施設すべてで、妊孕性が低下する可能性がある、がん治療を実施している。

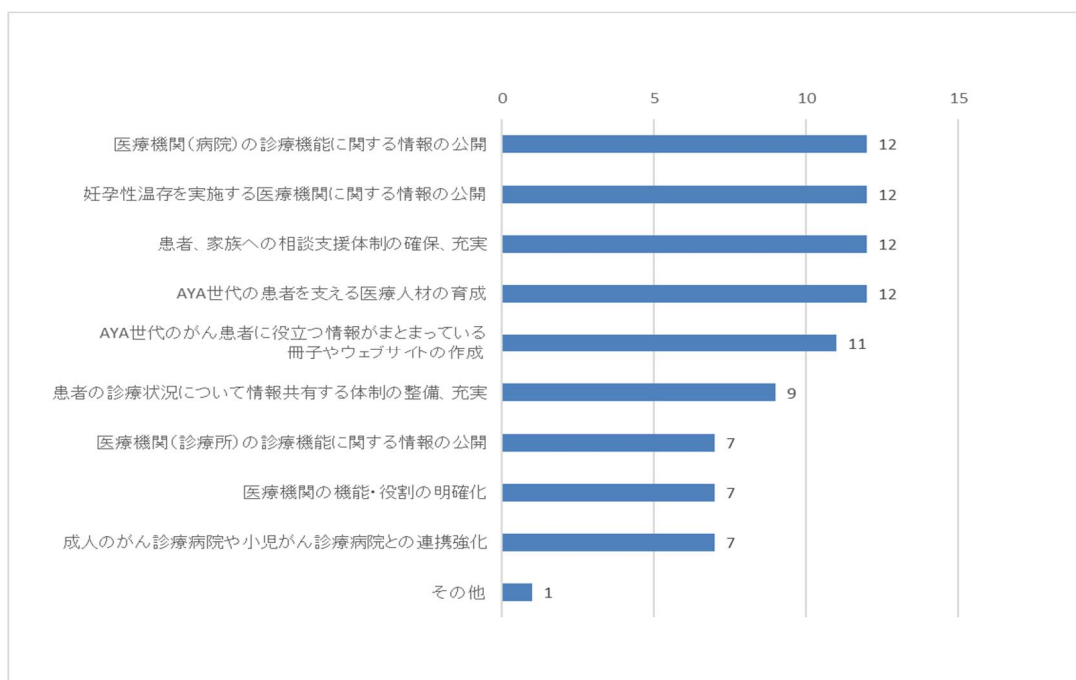
妊孕性温存療法について、各施設の回答一覧は（別紙5）のとおり。

【問12 AYA世代（15歳以上の思春期・若年成人世代）のがん診療について】

○20施設のうち、「AYA世代のがん診療（診断、治療）を行っている」と回答した医療機関は15施設であった（別紙6）。残る医療機関については、「AYA世代のがん診断は行い、治療については専門医へ紹介している」が1施設、「AYA世代のがん診療（診断、治療）は行っていない」が4施設であった。

【問12 地域医療と連携したAYA世代がん患者の診療を行うために必要と思われるもの】

（複数回答可）



【 病 院 】

○最も多かったのは「医療機関（病院）の診療機能に関する情報の公開」「妊孕性温存を実施する医療機関に関する情報の公開」「患者、家族への相談支援体制の確保、充実」「AYA世代の患者を支える医療人材の育成」がそれぞれ12件、次いで「AYA世代のがん患者に役立つ情報がまとまっている冊子やウェブサイトの作成」11件であった。

3 調査結果の公表

県ホームページにて公表する

問3 小児がん診療体制について

別紙1

※過去2年間(令和4年～令和5年)に診療実績あり◎、診療可能○

		千葉県 こども病院	千葉大学 医学部 附属病院	千葉県 がん センター	東京歯科大 学市川総合 病院	東京女子医 科大学附属 八千代医療 センター	東京慈恵会 医科大学附 属柏病院	成田赤十字 病院	日本医科 大学 千葉北総 病院	国際医療福 祉大学成田 病院	国保 旭中央 病院	亀田 総合病院	君津 中央病院	
白血病	診断	◎	◎		◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	
	治療	手術	◎	○										
		放射線	○	◎					◎					
		化学療法	入院	◎	◎				◎	○				
			外来	◎	◎				◎	○				
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	小児科		小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科		
脳腫瘍	診断	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	
	治療	手術	◎	◎	◎					◎				
		放射線	◎	◎	◎									
		化学療法	入院	◎	◎	◎				○				
			外来	◎	◎	◎				○				
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	脳外科	脳神経外科	小児科	小児科・脳神 経外科	脳神経外科、 小児科	小児科	小児科	脳神経外科	小児科 脳外科	小児科	脳外科		
神経芽細胞腫	診断	◎	◎		○	◎	○	○	○	○		○	○	
	治療	手術	◎	◎				○						
		放射線	○	◎					○					
		化学療法	入院	◎	◎				◎	○				
			外来		◎				◎	○				
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	小児科		小児科	小児外科	小児科	小児科	小児科	小児外科・小 児科		小児科	小児外科		
悪性リンパ腫	診断	◎	◎		◎	◎	○	◎	○	◎	◎	○	◎	
	治療	手術	◎	◎										
		放射線	○	◎										
		化学療法	入院	◎	◎					○				
			外来		◎					○				
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	小児科		小児科	小児科・小児 外科	小児科	小児科	小児科	小児外科	小児科	小児科	小児科		
網膜芽細胞腫	診断		○			○		○	○	○		○	○	
	治療	手術		○										
		放射線		○										
		化学療法	入院		○					○				
			外来		○					○				
主たる 担当診療科		眼科			小児外科		小児科	小児科	眼科・小児科		小児科	小児科		
ウイルス腫瘍	診断	◎	◎			○		○	○			○	○	
	治療	手術	◎	◎										
		放射線	◎	◎										
		化学療法	入院	◎	◎					○				
			外来		◎					○				
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	小児外科			小児科・小児 外科		小児科	小児科			小児科	小児外科		
骨肉腫	診断	◎	○	◎	○	○		○				○		
	治療	手術	○	○	◎									
		放射線	○	○	◎									
		化学療法	入院	○	○	◎								
			外来		○	◎								
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	小児科	整形外科	整形外科	小児科		小児科				小児科			
横紋筋肉腫	診断	○	◎		○	◎		○	○			○		
	治療	手術	○	◎										
		放射線	○	◎										
		化学療法	入院	○	◎					○				
			外来		◎					○				
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	小児科		整形外科	小児科		小児科	小児科			小児科			
ランゲルハンス組織球症	診断	◎	◎		○	○		◎	○	○		○	○	
	治療	手術	◎	◎				◎						
		放射線		○					○					
		化学療法	入院	◎	◎				◎	○				
			外来	◎	◎				◎	○				
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	小児科		小児科	小児科		小児科	小児科	皮膚科・小児 科		小児科	小児科		
その他	対応病名	胸腺芽腫、 混合性胚細胞 腫瘍	ユーイング肉 腫、卵巣悪性 奇形腫、胃が ん、大腸がん など	ユーイング肉 腫、滑膜肉腫 などの非円形 細胞軟部肉腫								菌状息肉腫		
	診断	◎	◎	◎							◎			
	治療	手術	◎	◎	◎									
		放射線		○	◎									
		化学療法	入院	◎	◎	◎								
外来				◎	◎									
主たる 担当診療科	血液・腫瘍科	小児科	整形外科								皮膚科			

問4・5 療養環境及び患者・家族支援状況について

※可能項目、該当項目に「○」対応なし、該当なしは「空欄」

項目		千葉県 こども病院	千葉大学 医学部 附属病院	千葉県 がんセンター	成田赤十字病院	日本医科大学 千葉北総病院	国際医療福祉大 学成田病院
療養環境							
面会時間		10時～20時まで	平日 14時～19時	13時～18時	15時～21時まで		13時～19時まで
面会 可能者	両親	○		○	○	○	○
	兄弟			○	○		○
	祖父母	○		○	○		○
	親戚						○
	友人						○
その他	祖父母は事前申請許可制 ターミナル時は患者の状態に応じて、主治医と病棟師長とで特別として許可するか否かを検討している		許可された方・原則2名まで。ターミナル時は別に相談	ターミナル時は事前申請により、対象者と時間の拡大可			ターミナル時は、臨機応変に対応
付添い	不要	○		○		○	
	希望で24時間可能						○
	24時間必要		○			○	
	夜間必要						
その他	許可制				未就学児は要付き添い		
の感 添入染 制院流 限の行 付時	通常どおり可能						
	一部制限		○	○	○	○	○
	全面的に禁止						
	その他	感染流行と関係なく不可				父母のみ	
時感 制の染 限面流 会行	通常どおり可能						
	一部制限	○	○	○	○	○	
	全面的に禁止						○
	その他				父母のみ		
の時感 付の染 添外流 制来行	通常どおり可能		○		○	○	○
	一部制限	○		○			
	全面的に禁止						
	その他						
W のi 病 環 境 i 等	フリーWifi				○	○	○
	有料ルーター貸出し		○				
	ルーター持ち込み許可		○				
	使用禁止						
その他	申請許可制			個別契約			
入院可能年齢(歳)		0～15歳以下 ※1	0～16歳未満	6～15歳	0～20歳まで	0歳～	制限なし
(小・中・高)教育支援	院内学級	分教室		○	○	○	
		訪問教育	○		○		
		自習室				○	
		その他					○(院内学級)
	ベッドサイドでの授業	○	○	○	○		
	通院患者の通学	○	○	○	○		
高校生への教育支援	院内学級	分教室		○	○		
		訪問教育	○		○		
		自習室				○	
		ベッドサイドでの授業	○	○	○	○	
通院患者の通学	○	○	○	○			
オンライン学習	○	○	○	○			
小児がん患児への学習への配慮等		すべての児に対して、入院前の学校での授業の進捗状況を確認し、入院後は個々の進捗にあわせて個別にプログラムを作成している。教員は、小・中・高校生それぞれ担当の教員がおり、対応している。	夜間に面談室を自習室として使用可能			クリーンルームから出られない患児に対し、教師がクリーンルームに向いて授業を行う等	
病棟保育		○	○				○
配属状況	保育士	○	○		○		
	配置状況	一般病棟に1～2名 平日8:30～20:30	非常勤2名			1名配置	
	公認心理士					○	○
	配置状況					兼任2名配置	小児科
	臨床心理士		○	○			○
配置状況		常勤7名、非常勤3名	3名			小児科	

問4・5 療養環境及び患者・家族支援状況について

※可能項目、該当項目に「○」 対応なし、該当なしは「空欄」

項目	千葉県 こども病院	千葉大学 医学部 附属病院	千葉県 がんセンター	成田赤十字病院	日本医科大学 千葉北総病院	国際医療福祉大 学成田病院
配属状況						
CLS	○					
配置状況	こども・家庭支援 センターに配属 平日8:30～17:15					
HPS						
配置状況						
子ども療養支援士						
配置状況						
緩和ケア	○	○				
がん化学療法	○	○				
がん性疼痛						
がん放射線療法						
がん看護		○				
小児看護	○	○		○		
家族支援	○					
その他	集中ケア、摂食・ 嚥下障害、新生児 集中ケア	皮膚・排泄ケア				
緩和ケアチーム	○	○	○	○	○	○
チーム構成	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 PT ソーシャルワ ーカー CLS	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士 PT ソーシャルワ ーカー	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士 PT ソーシャルワ ーカー	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士 ソーシャルワ ーカー	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士 ソーシャルワ ーカー	医師 看護師 薬剤師 栄養士 PT ソーシャルワ ーカー

患者・家族支援

相談窓口	名称	小児がん相談支 援センター	がん相談支援 センター	がん相談支援 センター	がん相談支援セン ター	がん相談支援セン ター	がん相談支援セン ター
	電 話	043 292-2111	043 226-2698(直)	043 264-6801	0476 22-2311	0476 99-2057	0476 35-5576 (予約センター)
	対応可能時間	平日 8:30～17:15	月～金(土日祝は 休み) 9:00～17:00 ※2	平日9:00～17:00 電話と面談 オンラ イン(事前予約)	月～金 (祝日を除く) 9:00～16:00	月～金9:00～16: 00 土9:00～15:00	原則予約制 火・金13:30～ /14:30～ それ以外は応相 談
対応 できる 相談 内容	医療費	○	○	○	○	○	○
	福祉制度	○	○	○	○	○	○
	入院生活	○	○	○	○	○	○
	就学	○	○	○	○	○	○
	就労		○	○	○	○	○
	セカンドオピニオン	○	○	○	○	○	○
	家族きょうだいの生活	○	○	○	○	○	○
	退院後の生活	○	○	○	○	○	○
その他		治療に関すること			グループケア		
宿泊施設	施設名	○ 敷地内 かるがもぼうず				○近隣 近隣ホテル	
	費用	有料				有料	
患児兄弟姉妹の預かり施設	施設名						
	費用						
家族休憩室	施設名						
	費用						

※1 但し16歳以
上でも治療上必要 ※2 電話相談は
があれば入院して 9:30～16:30
いる

問6 専門的な治療を終えた小児がん患者の地域との医療連携状況について 公開

別紙3

○専門的な治療を終えた後の、地域医療機関との連携体制について

※自施設での診療が可能な場合は○
 ※他院への紹介体制、他院からの紹介体制がある場合は○(文書によるもの)又は◎(文書若しくは口頭によるもの)
 ※網掛け医療機関は、小児がん診療を行っていないと回答した施設

医療機関名	診療内容 紹介体制			予防接種			風邪等の 内科的症状			けが等の 外科的治療			その他 歯科治療等			小児期から成人期へ の移行期医療			成人期における晩期 合併症治療		
	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制
1 千葉県こども病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
2 千葉大学医学部附属病院	○	○	○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 千葉県がんセンター					○			○					○		○	○		○	○		
4 千葉市立海浜病院																					
5 順天堂大学医学部附属浦安病院	○	○		○				○													
6 東京歯科大学市川総合病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
7 東京女子医科大学附属八千代医療センター	○	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎									
8 東京ベイ・浦安市川医療センター	○	○	○	○	○	○															
9 東京慈恵会医科大学附属柏病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○							
10 成田赤十字病院	○	◎	◎	○	◎	◎	○					○						○			
11 日本医科大学千葉北総病院	○				○				○				○							○	
12 東邦大学医療センター佐倉病院	○	◎	◎	○	◎	◎															
13 聖隷佐倉市民病院	○			○																	
14 国際医療福祉大学成田病院				○				○							○						
15 総合病院 国保旭中央病院	○		○	○		○	○		○		○										
16 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	○	○	○	○	○	○															
17 国保直営総合病院 君津中央病院	○	○	○	○	○	○						○	○	○							
18 帝京大学ちば総合医療センター	○			○				○				○									
19 独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院	○	○	○	○	○	○															

問10 小児がん患者の成人診療科への移行支援の状況について

医療機関名		項目		1	2	3	4	5	6
		千葉県こども病院	千葉大学医学部附属病院	千葉県がんセンター	成田赤十字病院	日本医科大学千葉北総病院	国際医療福祉大学成田病院		
移行支援をしている				○	○	○		○	
専門医へ紹介							○		○
成人年齢に達した小児がん患者への移行支援	診療の中で実施			○	○	○		○	
	診療と別に実施								
	実施していない								
	その他								
移行支援を実施する対象	全ての患者			○	○				
	一部の条件に合致する患者					○		○	
	個別の医師の判断に基づく								
	実施していない								
	その他								
移行期医療に関する支援チーム	あり			○	○				
	構成検討中							○	
	なし								
	その他					○ AYAがん支援チームがある			
移行支援が必要な患者に対してどのように対応しているか	患者が理解できる年齢になった時点で主治医から病気について説明する			○	○	○		○	
	初発からのサマリーを作成し、転科・転院を支援				○			○	
	晩期合併症のリスクや検診についてまとめ、転科・転院を支援				○				
	小児科と移行側診療科で主治医交代に際してカンファレンスを実施							○	
	本人の疾患理解の促進、体調管理の自立促進など早めから準備を進める			○	○				
	その他					○※			
一定年齢に達した小児がん患者への診療体制、診療状況	治療終了後のフォローアップは小児科で行い、合併症の治療は該当成人診療科で実施			○	○				
	自施設内の成人診療科へ移行している、目指している					○		○	
	他施設の成人診療科へ移行している、目指している								
	その他								

※当院は成人を見ているので、当院で対応できる支援は当院で、そうでない合併症などは適切な病院へ紹介している

問11 妊孕性温存療法について

医療機関名		項目		1	2	3	4	5	6
		千葉県こども病院	千葉大学医学部 附属病院	千葉県がんセン ター	成田赤十字病院	日本医科大学千 葉北総病院	国際医療福祉大 学成田病院		
妊孕性が低下する可能性があるがん治療を実施				○	○	○	○	○	○
専門医へ紹介									
妊孕性が低下する可能性 がある一定の治療を予定し ている患者に対し、治療 による生殖機能への影響に ついて患者・ご家族に説明 を実施するか ※小児がんの診療科で実 施せず、生殖医療の診療 科へ紹介する場合も“実 施”とする	全員に実施			○	○	○	○	○	○
	一定の年齢以上の患者に 対してのみ実施								
	時間的余裕がある患者に 対してのみ実施								
	患者、家族が希望した場 合のみ実施								
	その他								
妊孕性温存療法について、 いつの時点で情報提供す るか	がんの疑いがあると分かっ た時			○					
	がんの確定診断時					○	○	○	
	治療方針の検討時					○	○		○
	治療方針決定後				○		○		
	患者・家族から相談があっ た時								
	その他								
医師説明後の主たる相談 対応者	各がん診療科の医師			○		○			
	産婦人科等の特定の医師								○
	がん診療科の看護師・認 定看護師等					○			
	産婦人科等の看護師・認 定看護師等				○				
	がん相談支援センターの 相談員等					○	○	○	
	その他								
妊孕性療法実施医療機関 への連絡方法	患者が妊孕性温存医療機 関に連絡する				○				
	主たる相談対応者が妊孕 性温存医療機関に連絡す る	○	○		○		○	○	
	医療機関の担当部署が妊 孕性温存医療機関に連絡 する					○			○
	その他								

問12 AYA世代(15歳から39歳の思春期・若年成人世代)のがん患者に対する(診断、治療等)について

医療機関名	診療内容 紹介体制	診療を 行っている	専門医へ 紹介	診療は 行っていない	相談や社会的支援を要するAYA世代のがん患者支援についてどのように対応していますか				
					主治医が診療 の中で相談の 有無を確認し ている	診療とは別特 で看護師等が 面接を行う	AYA世代のが ん患者のため の支援チーム が対応	AYA世代のがん患 者に特化したもの はないが、小児が ん患者と同様の体 制で対応	その他
1 千葉県こども病院		○			○				
2 千葉大学医学部附属病院		○			○				
3 千葉県がんセンター		○			○		○		
4 千葉市立海浜病院				○					
5 順天堂大学医学部附属浦安病院				○					
6 東京歯科大学市川総合病院		○			○	○			
7 東京女子医科大学附属八千代医療センター		○			○	○			
8 東京ベイ・浦安市川医療センター				○					
9 東京慈恵会医科大学附属柏病院		○				○			
10 成田赤十字病院		○			○			○	
11 日本医科大学千葉北総病院		○			○				
12 東邦大学医療センター佐倉病院		○				○			
13 聖隷佐倉市民病院		○			○				
14 国際医療福祉大学成田病院		○			○				
15 総合病院 国保旭中央病院		○			○	○	○	○	
16 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院		○			○	○	○		左記1, 2, 3を行う中で社会的支援が必要な場合、MSWへ依頼する
17 国保直営総合病院 君津中央病院			○						疑い病名又は診断確定した段階で状況に応じて現場で対応
18 帝京大学ちば総合医療センター				○					
19 独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院		○					○		

令和6年度小児・AYA世代がん診療に関する医療機関実態調査結果

1 調査概要

小児がん患者さんとそのご家族及び小児がん経験者の方が可能な限り慣れ親しんだ地域で治療や支援、長期フォローアップが受けられる環境の整備を検討していくための基礎資料として、県内の医療体制の実態を把握するための定期的な情報の確認と更新として、平成27年度、平成29年度、令和元年度、令和4年度の計4回にわたり調査を実施した。

本調査は第5回目の調査となり、病院28施設、診療所14施設に調査を実施した。

なお、調査結果については、資料1が病院、資料2が診療所の結果である。

(1) 調査目的

県内の小児・AYA世代がん診療における医療体制の実態把握

(2) 調査対象

診療所14施設（別添対象医療機関一覧のとおり）

※下記に該当する県内医療機関

○千葉小児整形外科グループ施設

○医療情報ネット「ナビィ」/目的別検索/小児悪性腫瘍/該当医療機関

(3) 調査期間

令和7年2月

(4) 調査方法

FAXまたはメールにより回収

2 調査結果

【回答状況】 8施設 回答率57.1%（※各設問に対する公開数は下記のとおり）

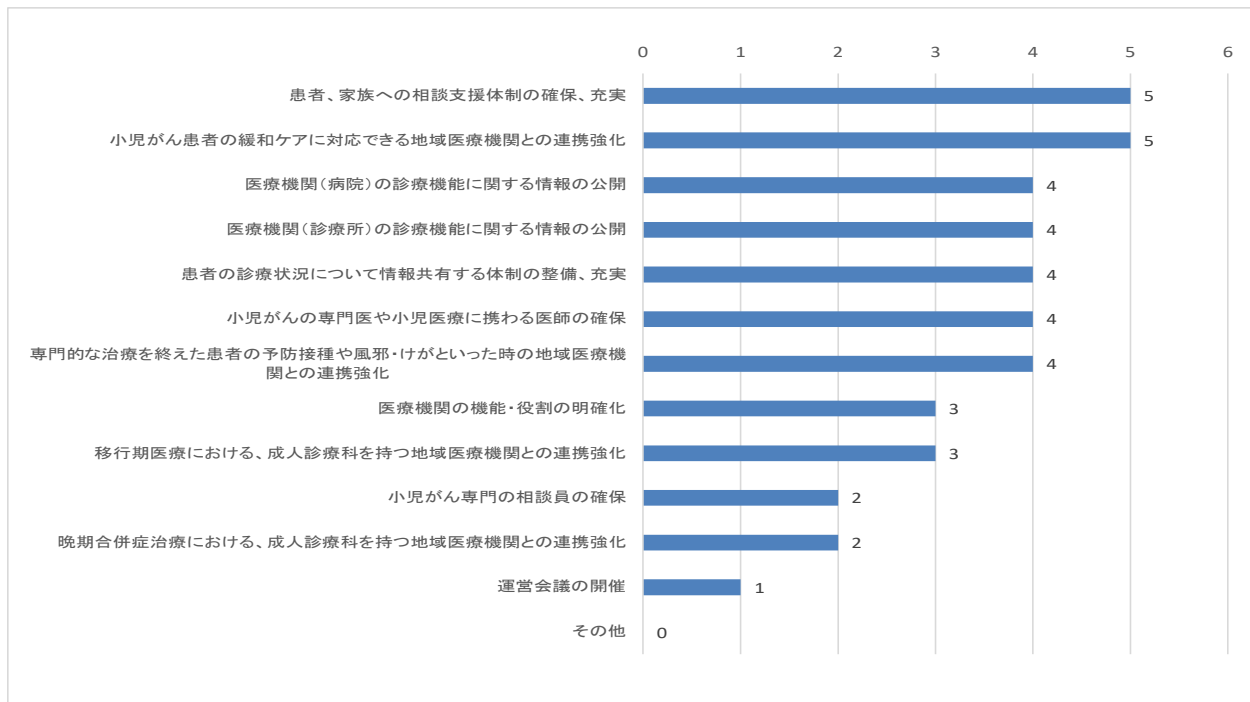
	問2	問3
施設名を含め公開	6	2
施設名を除き公開	6	2
非公開	0	0

【 診 療 所 】

【問2 地域との医療連携について】

○専門的な治療を終えた患者の予防接種や風邪・けがといった時の診療について、自施設で何らかの診療が可能と回答した7施設のうち、予防接種の対応施設は6施設、風邪等の内科的症状の診療施設は6施設、けが等外科的治療の対応施設は2施設であった。その他歯科治療等の診療施設は1施設、小児期から成人期への移行期医療は4施設、成人期における晩期合併症治療は3施設が診療可能と回答している（別紙1）

【問2 地域医療機関と連携した小児がん診療を行うために必要と思われるもの】（複数回答可）



○最も多かったのは「患者、家族への相談支援体制の確保、充実」「小児がん患者の緩和ケアに対応できる地域医療機関との連携強化」が5件、ついで「医療機関（病院）の診療機能に関する情報の公開」「医療機関（診療所）の診療機能に関する情報の公開」「患者の診療状況について情報共有する体制の整備、充実」「小児がんの専門医や小児医療に携わる医師の確保」「専門的な治療を終えた患者の予防接種や風邪・けがといった時の地域医療機関との連携強化」がそれぞれ4件であった。

【問3 地域との医療提携（緩和ケア含む在宅医療）について】

○専門的な治療中の、緩和ケア提供含む在宅医療に対応している地域医療機関との連携について、「連携実績がある、もしくは連携できる可能性がある」と把握している医療機関があると回答のあった5施設のうち、「自院が所在する市町村」が5件、「隣接する市町村」が3件、「左記以外の市町村」が3件であった。

【 診 療 所 】

3 調査結果の公表

県ホームページにて公表する。

問2 地域との医療連携状況について

○専門的な治療を終えた患者の予防接種や風邪・けがといった時の診療、地域医療機関との連携体制について

①自施設での診療が可能な場合は○

②他院への紹介体制、他院からの紹介体制がある場合は○(文書によるもの)又は◎(文書若しくは口頭によるもの)

医療機関名	予防接種			風邪等の 内科的症状			けが等の 外科的治療			その他 歯科治療等			小児期から成人期へ の移行期医療			成人期における晩期 合併症治療		
	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制	自施設 での 診療	他院へ の紹介 体制	他院か らの紹介 体制
1 千葉こどもとおとなの整形外科							○	◎	◎				○	◎	◎	○	◎	◎
2 平沢小児科	○			○														
3 医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所まくはり																		
4 いなげ未来クリニック	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 岩沢医院	○	○	○	○	○	○							○	○	○			
6 亀田クリニック	○	◎	◎	○	◎	◎												